

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

＜項目＞

第2章 疾病別の医療連携体制の構築

第4節 糖尿病

とりまとめ担当課：保健福祉局保健医療部医療課

1 課題に対する平成26年度の実績

(1) 予防

→県内の各団体・関係機関や市町村とともに健康づくりを推進するために、かながわ健康プラン21推進会議を開催(2回)、神奈川県生活習慣病対策委員会(各種部会1回、かながわ健康プラン21目標評価ワーキング1回)を開催(1回)し、事業検証を行うとともに、県民、関係団体、行政間で効果的な推進を図るための検討を行った。

→県民、企業、学校、行政が一体となって、円滑に計画を推進するため、かながわ健康プラン21地域・職域連携推進部会を開催(1回)、市町村への情報提供及び連絡調整のため、市町村健康増進事業主管課長会議を開催(2回)するとともに、研修、健康教育を実施した。

→かながわ健康プラン21推進会議の構成団体がイベントやセミナー等(かながわ健康財団による各種イベントにおける簡易測定等)を開催した。またそれらイベントの情報を取りまとめ、ホームページで情報提供した。

健康づくりの地域・職域連携推進事業における主な実施状況

	回数	参加人数	備考
会議	14回	202人	(県と5つの二次医療圏)
研修	11回	358人	(県と5つの二次医療圏)
健康教育	169回	4,975人	(二次医療圏)

→県民に対し、より効果的な施策の推進を図るため、有識者や先進的な取組みを行う民間企業、自治体等により検討を行う健康寿命日本一戦略会議(平成25年5月設置)を開催した。(2回)

→健康寿命日本一を目指して、「食」「運動」「社会参加」の取組みを社会全体で取り組むよう発表した「未病を治すかながわ宣言」(平成26年1月)に基づき、県民が未病を治す取組みを実践し、生活習慣病の予防等を図る「未病センター」構想を推進した。

(2) 医療

ア 糖尿病の医療

→湘南東部地域において糖尿病地域連携クリティカルパスを活用した取組みを実施した。

<p>→湘南東部地域において、クリティカルパスの普及や患者への周知方法等について検討会を実施したほか、市民向けの「糖尿病・地域連携ニュース」を作成、発行した（3回発行）。</p> <p>→「湘南糖尿病ネットワークガイドブック茅ヶ崎寒川版」に、糖尿病患者向けの教育テキストや療養指導ガイドの標準版を掲載した。</p>
<p>イ 糖尿病患者への教育・情報提供</p> <p>→生活習慣病の重症化・合併症予防に重点を置き生活改善につながる新たな保健指導モデルの構築を目的とした「かながわ保健指導モデル事業」を実施した。平成26年度には、新たに高血糖の方を対象とするグループを設定した。（平成25年度から平成27年度まで）</p>
<p>ウ 医療機能の情報提供及び連携の推進</p> <p>→糖尿病の治療に対応できる医療機関について、県内の医療機関からの報告を受け、かながわ医療情報検索サービスのホームページにおいて公表した。</p>

2 目標値の推移

取組区分	名称	単位	策定時	実績値	達成目安	目標値 (H29年度)	達成率 (%)	備考
(1)	特定健康診査の実施率 (再掲)	%	40.3 (H22)	42.9 (H24)	48.7	70.0以上	△ (30.9)	医療費適正化計画
(2)イ	糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数	人	959 (H22)	950 (H26)	947	925 (H34)	● (75.0)	かながわ健康プラン 21（第2次）
(2)イ	20歳以上の糖尿病治療継続者	%	58.3 (H21～23)	—	—	65.0 (H34)	—	かながわ健康プラン 21（第2次）

3 参考指標の推移

取組区分	指標区分	指標名	単位	神奈川県内			備考
				H24年度	H25年度	H26年度	
(1)	◎	健康診断・健康検査の受診率	%	68.2 (H22)	66.3 (H25)	66.3 (H25)	H22、H25年国民生活基礎調査
(2)ア	◎	糖尿病による死亡率（男性）	%	4.8 (H22)	4.8 (H22)	4.8 (H22)	H22年都道府県別年齢調整死亡率
(2)ア	◎	糖尿病による死亡率（女性）	%	2.7 (H22)	2.7 (H22)	2.7 (H22)	H22年都道府県別年齢調整死亡率
(2)ア	県	地域医療連携パス等の活用状況	圏域	2	2	2	湘南東部、厚木

4 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 予防

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	<p>「かながわ健康プラン21（第2次）」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康寿命の延伸を図る「未病を治す」取組みの推進により、生活習慣病対策に向けた食生活の改善、運動の習慣化などを県民が実践できる環境づくりの促進が図られた。 数値目標に掲げる特定健康診査の実施率については、数値目標の目安に対して達成が遅れている。
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 「健康寿命日本一」（健康寿命の延伸）の課題達成に向けては着実に進捗しているが、特定健康診査の実施率については、数値目標の目安に対して達成が遅れるなど、全体としては、課題解決に向けてやや進捗が遅れている。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 新たな取組等が県民の健康づくりに定着化するよう、市町村、企業・団体と連携して取り組む。 「未病を治す」取組みを推進し、また、平成27年度から糖尿病対策の普及啓発を強化する中で、特定健診実施率の向上に取り組む。

(2) 医療

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	<p>ア 糖尿病の医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域は限定されているものの、糖尿病地域連携クリティカルパスなどの取組みを実施するとともに、保健福祉事務所が開催する委員会等において多職種協働による在宅医療の推進を検討し、関係職種間の連携構築や糖尿病治療の標準化が進んだ。
	<p>イ 糖尿病患者への教育・情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病の重症化・合併症予防に重点を置き生活改善につながる新たな保健指導モデルの構築を目的とした「かながわ保健指導モデル事業」を実施した。平成26年度には、新たに高血糖の方を対象とするグループを設定した。（平成25年度から平成27年度まで） 数値目標に掲げる糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数は数値目標の目安に対して達成がやや遅れている。
	<p>ウ 医療機能の情報提供及び連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 糖尿病の治療に関する医療機能について、必要な情報提供が果たされた。
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 年間新規透析導入患者数は数値目標の目安に対して達成がやや遅れている一方、糖尿病の医療、糖尿病患者への教育・情報提供、医療機能の情報提供について、着実に取組みを進めるなど、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 年間新規透析導入患者数の数値目標達成するため、26年度に引き続き、委員会等で地域連携クリティカルパスの発行数の増、維持期機関へ連携のための登録数の増、普及啓発について検討するとともに、実施地域の拡大を目指す。

	<ul style="list-style-type: none"> ・また、「かながわ保健指導モデル事業」などの生活習慣病の重症化・合併症予防に重点を置き生活改善につながる取組みを行うとともに、かながわ医療情報検索サービスによる情報提供を行う。
--	--

5 総合評価

評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・「かながわ健康プラン2 1（第2次）」に基づき、予防体制が整備されつつあり、医療体制についても、医療計画の取組が着実に進められ、数値目標の目安を概ね達成しており、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。

6 特記事項

--